

# 2021年度 全日本学生ボードセーリング選手権 レース公示

日時 2021年11月14日(日)～11月19日(金)

共同主催 NPO法人日本ウインドサーフィン協会  
日本学生ボードセーリング連盟

公認 公益財団法人日本セーリング連盟(2021-38)

協力 オクマプライベートビーチ&リゾート、国頭漁業協同組合、沖縄ロジテム(株)、  
日新航空サービス(株)、タヘアウトドアーズジャパン、他

場所 沖縄県国頭郡字奥間海岸沖

1.適用規則 2021-2024 ウインドサーフィン競技規則(以下RRS)及び付則B<sup>1</sup>、テクノ293クラスルールおよびチャンピオンシップルールに定義された規則。

2.広告 各艇は主催団体により提供された広告の表示を要求される場合がある。

3.競技種目 テクノ293 クラス(A17 ディビジョン)メンズクラス  
テクノ293 クラス(A17 ディビジョン)レディースクラス

4.帆走指示書 レジストレーション時に配布する。

5.レースコース

レースエリアは沖縄県国頭郡国頭村字奥間913奥間海岸起点より沖合270度方向800mを中心に半径600mの円に囲まれたエリアで行う。  
またレースエリアの概略一図は別添に示す。レースコースはトラペゾイドまたはソーセージコースのいずれかとし帆走指示書に掲載する。

6.参加資格及び参加方法

- ・2021年度 公益財団法人日本セーリング連盟会員
- ・2021年度 日本ウインドサーフィン協会会員
- ・2021年度 日本学生ボードセーリング連盟会員
- ・日本学生ボードセーリング連盟各支部の予選会に於いて今大会出場資格を得た選手。
  - ・主催団体が参加を認め、大会の名誉、品位を著しく損なう行為の無い選手。
  - ・浮力体の用意をしている選手。
  - ・未成年者が参加する場合は、保護者が責任をもつ事に同意をしている事。
  - ・自己及び第三者への賠償を補償できる保険に加入している選手。
- ・昨年の大会において男子10位、女子6位以内の選手。
  - ・所属する大学から本大会への参加許可及び、遠征許可が公式に出ている選手。

7.責任の所在 本大会の主催者、関係団体及びレース委員会は、人員及び物件に対するいかなる責任も負わない。  
出艇してスタートするか、あるいはレースを継続するかどうかを決める責任は各選手にある。

8.参加人数 男子 約110名 女子 約50名

9.表彰 男子1位～10位 / 女子 1位～6位 を表彰とする。  
また本大会のレース結果は2022年度学連National Team 選考基準の一部とする可能性がある。  
詳しくは後日、告知する。

10.レース数 本大会は最大9レースを予定する。本大会は1レース以上をもって成立とする。

11.得点 WCR付則A2<sup>2</sup>を変更して適用する。3レース以下の場合は全レースの得点を合計し、  
4レース以上の場合、その艇の最も悪い得点を除外して合計する。

12.救命具 参加者は離岸から着岸までの間は有効な浮力を有する救命具を着用しなければならない。

<sup>1</sup>セーリング競技規則

<sup>2</sup>RRS付則B8-A2

13.計測 大会レジストレーション前の11月14日～11月16日の指定された時間内の大会期間中に使用するボードの重量等の計測を行う。

#### 14.日程

11月14日	10:00～11:00	計測
11月16日	10:00～11:00	計測
	15:30～17:00	レジストレーション、
11月17日	09:30	開会式 スキッパーズミーティング
	10:55	第一レース予告信号
11月18日	09:55	最初のレース予告信号
11月19日	09:55	最初のレース予告信号
	18:30	表彰式 閉会式
11月20日		ボード積み込み 解散

15.大会の申込 別紙申し込み用紙(後日JUBFのホームページにアップロードします)に必要事項を記入の上、10月20日(水)までに大会事務局に郵送すること レイトエントリーは10月22日(金)までとする。

16.参加費用 12000円(レイト時は、14000円)

17.大会事務局 日本学生ボードセーリング連盟委員長 小林 将 (明治大学)

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-19

TEL 080-6809-7820 EMAIL : jubf@jw-a.org

#### 18.COVID-19(新型コロナ)感染対策について

##### 18.1.本大会開催に当たって

昨今の社会情勢を踏まえつつ、「新しい生活様式」として今後も安全に学生がウインドサーフィンに取り組めるような環境づくりを学連で考えていく必要があります。学連として、本大会は今までコロナ渦で行われてきた数々の大会の集大成となるような万全の体制で開催、そして運営していくと共に今後の数々の大会の模範となり重要な指針となるような大会となることを目指します。従って、本項で示す内容を熟読し、遵守してください。

##### 18.2.大会中止の可能性

本大会は、以下の項目が一つでも当てはまる場合、中止とする可能性がある。また、レースが 1 レースでも成立した後での中止は、予備日などの行使をせず、中止の決定をもって大会終了とする。

- ・行政機関より中止勧告が出された。
- ・大会期間中に COVID-19 とと思われる症状を訴える選手が見つかった
- ・参加選手が国内の COVID-19 感染者の濃厚接触者であると発覚した
- ・本大会の開催によってクラスターが発生し得る状況になった
- ・その他、社会的に開催が適切で無いと判断される状況となった。

##### 18.3.大会実行委員会の責任

本大会期間中の選手の健康管理及び安全管理に基づく決定事項は、大会実行委員であるJUBFが各大学のキャプテンと連携して情報を収集した上で、JSAF作成のガイドライン「セーリング競技に関わる大会等再開時のガイドライン」に厳格に従いながらJUBFが全ての決定を行い、その責任を負う。

但し、「6.参加資格」に記載の通り、各大学の参加可否については、各大学が公式に発表している基準に全選手が従っている前提とする。よって、公式に発表された活動基準を無視し、本大会に出場して何らかの問題へとつながった場合には、JUBFは一切の責任を負わない。

また、本大会では陸上スタッフによって、感染対策の履行が正しく行われているか、また、諸問題が発生していないかが常に確認される。本公示に記載の内容に反していると陸上スタッフに判断された場合には、次項で説明されるペナルティを履行させる。

#### 18.4. 感染防止に対する規則違反のペナルティについて

本項で要求される内容全てを大会に出場する選手は遵守しなければならず、これに違反した選手あるいは大学は運営の定めるペナルティを履行する。具体的には、大会の成績及び出場登録を抹消する場合がある。

#### 18.5. 積み下ろし及び練習について

各大学の積み下ろし、全選手の出艇時間、及び帰着時間を事前に管理し、海岸での3密防止に取り組む。

18.6. 大会当日 感染防止策として、会場の数カ所にアルコール消毒液を設置する。また、着替えなどは各自の部屋で済ませた状態で会場に向かうことが望ましい。また、陸上では必ずマスクを着用すること。マスクを外して良いのは出艇申告を済ませてからとし、レース後、帰着申告が終わったら速やかにマスクを着用すること。

18.7. 大会開催時に全国何処かの都道府県に「緊急事態宣言」、もしくは「まん延防止等重点措置」が出されている場合は、参加選手個々が11月14日10時より前、72時間以内にPCR検査も受けておく事が、JWAにより義務付けられている。本大会開催時がこれに該当した場合は、受付時にPCR検査の陰性証明の提出が必要となり、証明できない場合は本大会への参加が拒否される。(JWAのコロナ感染防止対策指針に基づく)

※抗原検査は不可なので注意

18.8. 大会期間中は、大会実行委員会による検温を実施する。発熱症状のある選手は、レースへの出場を認めない。またPCR検査や抗原検査を実施することもある。

18.9. 大会終了後から2週間以内にCOVID-19 感染症を発症した場合は、速やかに実行委員会にその事実と濃厚接触者の有無等について報告することとする。

19. 著作権について 共同主催契約書第12項(以下記載)に基づき、インカレにおける写真や動画の著作権はJWAが有するものとする。

#### 第12項 著作権

JWAは主管団体に対し大会名称「全日本学生ボードセーリング選手権」に関する全ての著作権と、新聞社、雑誌、テレビ局その他全てのメディア関係社(者)に対して有料・無料で取材の許可を与える権利を譲渡する。

上記にかかわらず、JWAはその著作権の使用に関し、JWAの直接関与する「ホームページ」その他の機関誌、報道に関する権限を留保する。

この著作権に関する有効期間は本契約の期間に関わらず、期限を設けない。

# レースエリア概略図

